

## 条例制定済 都道府県の事業実施状況等

都道府県	区分※	事業名称	事業概要	平成29年 (予定)	平成28年(実績)	
				当初予算(千円)	実績	当初予算(千円)
秋田県	普及啓発	県民向け手話教室	県内各地で簡単な挨拶や会話程度の手話教室を県民を対象として開催。	245 ※6月補正	-	-
		手話等理解啓発事業	子どもから大人までわかりやすい内容の小冊子を県民へ配布。	455 ※6月補正	-	-
	学ぶ	小学生向け手話教室	小学校において、簡単な挨拶や自己紹介程度の手話教室を開催。	987 ※6月補正	-	-
山形県	普及啓発	手話普及動画制作事業	県ホームページ等に掲載する手話を紹介する動画を制作。	107	-	-
群馬県	普及啓発	リーフレットの作成	リーフレットの作成・配布。	348	-	-
	学ぶ	手話普及啓発事業	学校の教員や小学部～高等部の児童生徒向けの手話教室の実施。	238	-	238
埼玉県	普及啓発	手話講習会	県民等に対する手話講習会を実施。	1,720	・公的職員向け講習会 1回 ・県職員向け講習会 4回	97
		条例周知の広報活動	県広報媒体(広報紙、HPなど)のほか、県職員による条例説明会を実施。		・パンフレット 9500部 ・市町村職員向け説明会 1回 ・事業者向け説明会 3回	
千葉県	普及啓発	手話学習用冊子作成	挨拶や簡単なやり取りができる初歩的な単語を掲載した冊子の作成	1,235	-	-
		手話等普及啓発用DVD作成	中・高校生向け手話等普及啓発用のDVDを作成	6,000	-	-
		パンフレット等	パンフレット等を作成		・パンフレット等145,000部	3,550
神奈川県	普及啓発	手話普及推進イベントの開催	-	2,950	・9月10日に、「聲の形」の先行上映会とともに、手話講習会等を実施。	5,130
		パンフレット等の作成	-	300	パンフレット等の作成、配布	1,010
	学ぶ	教育現場での学習教材の作成	-	1,450	学習教材「手話を楽しく学ぼう!」を、小・中・高校に配付	1,770
		手話学習用冊子・動画の作成	-	300	・手話学習用冊子 36,000部 ・動画の作成・公開	5,300
	働く	事業者向け手話学習用動画の作成	-	1,450	-	-
		手話講習会の実施	-	5,340	21社41回開催	9,320
長野県	普及啓発	県内プロスポーツ団体を手話で応援事業	公募応援団でプロスポーツチームを手話で応援(信州ブレイブウォリアーズ(バスケット)と協力して実施)。	1,036	参加21名(ろう者13名、聴者8名)	417
		パンフレット作成事業	-	154	35,000部	700
	学ぶ	県民向け手話講座の開催	「手話であいさつや自己紹介ができること」を到達目標とした手話講座の開催。	358	・開催回数 40回(10地域各4回) ・参加者数 512名	416
		ろう学校における手話環境の整備	ろう学校教職員の手話力の向上(教職員を対象とした校内研修の充実、より専門的な外部研修会への参加)。	492	・研修の実施 12回 ・外部研修への参加 6名	334
	働く	学校教育における手話に係る理解促進	教員を対象とした講習会の開催。	147	開催回数 1回	303
		手話学習会実施事業所補助事業	手話学習会を実施する事業所に対し経費の一部を補助。	350	・補助団体数 4団体 ・補助額 128千円	700
		観光関係者向け手話講座の開催	「観光地や旅館ホテル等で手話でろう者を案内できる者を増やすこと」を目標とした手話講座の開催。	223	-	-
愛知県	普及啓発	普及啓発事業	障がいの特性に応じたコミュニケーション手段に関する普及啓発(パンフレットの作成、シンポジウムの開催)を実施。	2,121	・パンフレット等 108,000部 ・シンポジウム 2回開催	2,121 (9月補正)
	働く	手話講座講師派遣	企業での手話講座等に手話通訳者を派遣。	713		
三重県	普及啓発	普及啓発	・啓発イベント ・パンフレット ・手話動画	2,886	28年度はパンフレットのみ	635
	働く	県民向け手話講座	県民向け手話講座開催。	1300	-	-

都道府県	区分※	事業名称	事業概要	平成29年 (予定)	平成28年(実績)	
				当初予算(千円)	実績	当初予算(千円)
奈良県	普及啓発	パンフレット等の作成	パンフレット等作成・配布。	680	-	-
		条例啓発イベントの開催	子どもから大人まで誰もが楽しめ、手話のことも広く知ってもらえるイベントを開催。	250	-	-
		手話ハンドブックの作成	基本的な手話等について記載したハンドブックの作成	870	-	-
鳥取県	普及啓発	ミニ手話講座の開催	県民向け手話講座を県内各地で開催する。	1,630	-	1,630
		手話啓発イベントへの補助	鳥取県聴覚障害者協会が主催する手話啓発イベント開催経費に係る補助金。	800	-	800
		鳥取の手話を創り、守り、伝える事業への補助	鳥取の手話を整理して記録し、地域の手話を残す取組を支援するための補助金。	100	-	100
	学ぶ	手話言語条例学習教材の作成・配布	手話に関するろう者の歴史をテーマとした学習教材を作成・配布。	2,497	-	0
		手話普及コーディネーター・手話普及支援員の配置	ろう及び手話に関する普及活動及び学習教材の利用促進の活動を行う手話普及コーディネーター及び手話普及支援員を配置し、学校への派遣を行う。	10,400	-	9,679
		手話ハンドブックの配布(新1年生)	小学校1年生に手話ハンドブックを配布	1,556	-	1,556
		豊学校幼児児童生徒との交流学習	鳥取豊学校と交流中の4校をモデル校とし、課題を整理して今後の交流の拡大につなげる。	200	-	200
		指文字タペストリー	指文字タペストリーを作成し、小学校に配布する。	816	-	765
		全国高校生手話パフォーマンス甲子園非常勤職員	広報・情報発信を担当の非常勤職員を配置	1,895	-	1,864
	働く	手話学習会等補助金	企業等が開催する手話学習会開催経費等に係る補助金	1,220	-	850
沖縄県	普及啓発	パンフレット等の発行	日常生活で使える手話が掲載された手話パンフレットや、指文字五十音順が掲載されたクリアファイルの発行。	未定	パンフレット等 13,000部発行	1,091
	学ぶ	高等学校におけるクラブ活動と福祉授業	沖縄県手話言語条例第6条に基づく取組み。	-	高等学校2校	-
		ろう学校 手話研修	沖縄県手話言語条例第6条に基づく取組み。	-	研修 4回	-

※区分について

- ・大阪府手話言語条例に基づく区分  
普及啓発＝言語としての手話の認識の普及 暮らす＝乳幼児期からの手話の習得の機会の確保  
学ぶ＝学校による手話の習得の機会の確保 働く＝事業者による手話の習得の機会の確保
- ・上記区分に該当しない手話通訳者養成・派遣等の意思疎通支援事業は、大阪府の判断で除外した。